

初級における聞き取りタスクの工夫

ウィーン大学日本学研究所 マデルドナー めぐみ

1. はじめに

日本語教育においては、読む書く話す聞くの4技能の修得が欠かせない。現在、聞き取り教材として、「絵とタスクで学ぶ日本語」「日本語聞いて話して」など内容豊かな教材が出されているが、使用教科書との語彙や文法の導入時期のずれから簡単に使用できないことが往々にしてある。特に初級においては、教科書による学習項目の順序の違いが大きい。そのことから当研究所では、代々の日本人講師たちが、自らのニーズに合った独自の聞き取りタスクを作成してきた。

2. 目的

当研究所では一年で初級文法を一通り終えるというカリキュラムのもと、オーストリア人教師がテキストの翻訳、およびドイツ語での文法説明を担当し、日本人講師がプラクティカルなコミュニケーションの面を担当している。その両方のニーズに合うよう、クラシックではあるが以前よりLearn Japanese 4冊を使用している。

日本人講師の授業では読む書く話す聞くの4技能を万遍なく修得させることを目的に様々なタスクを自主作成して使用、教科書は語彙の確認、テーマ設定のために会話文を読む程度である。聞く技能については、上記教科書にテープがついているものの、教科書会話文の他にはドリルが大部分を占めているため、コミュニカティブな授業に生かすことができない。そこで教科書に出てくる語彙や表現を聞き取ることにとどまらず、実際の生活で使用されると思われる身近な日本語の語彙および表現を理解させ、さらにそれらを自分で使えることを目的として、講師が聞き取りテープを作成した。ここでは、この目的に沿って作成した聞き取りタスクの例を紹介する。

3. 聞き取りタスクのタイプ

聞き取りタスクにおいては、次の2種類を考えて作成した。

- a) 言葉をはっきり聞き取ることに重点を置くディクテーションタイプ。初期の段階ではこのタイプを教科書の会話文になるべく沿って作成した。しかし、後半からは学習する課のテーマや学習項目にあった短い会話をかなり自由に取り入れた。
- b) 聞き取れない言葉があったとしても、自分の知識内で全体の状況を理解するタイプ。60時間を経過する頃から、語彙や既習文法が増えるのに合わせ、このタイプを多く取り入れた。

4. 聞き取りタスクの実際

4.1 ディクテーションタイプ

Nr.1 導入(発音、表記等)が終わり会話テキストを含む本格的な学習が始まった3回目

の授業で聞かせる。授業ではまず文法導入、絵などによる語彙の定着を計った後、教科書の会話文のテープを聞き、内容確認をする。その後、この教科書会話文をベースに学生の生活に身近な語彙を入れた会話を聞かせ、文章化させる。

Nr.2 「い形容詞、な形容詞」。約60時間学習したころに聞かせた。授業ではまず絵カードなどで、形容詞を導入し定着させた。このタスクでは既習、新出の形容詞を聞き取った後、名詞の前につく形の違いに気を付けて記入させる。

Nr.3 「～ように言う、頼む」。すでに240時間経過した段階のもの。それぞれ会話にでてくる発言内容を聞き取り、動詞を適切な形に変え文を完成させる。

4.2 状況理解タイプ

Nr.4 「～に行く」。約60時間学習したころに聞かせた。短い会話を聞いて、どの状況か絵を選び、その後「～に行く」の形でいわせる。

Nr.5 「～ば形」。120時間経過した段階のもの。雑音で消えている部分を前後の発言から類推させ、「～ば形」を使って口頭で言わせる。その際、学生の語彙の知識によって違う動詞が出てくる場合がある。内容的に矛盾しない限り、なるべく多くの文を作らせる。

Nr.6 「受け身」。170時間経過した段階のもの。会話を聞いて、まず内容に合った絵に番号を書かせる。その後、受け身の形で文を書かせる。

Nr.7 「～ようだ」。200時間経過した段階のもの。短い発話や音を聞いてまず誰がどのドアの向こうにいるのか見つける。その後、学生一人一人が自分で状況を想像して、「～ようです」の文型で文を書く。

5. 効果と今後の反省点

教師が自然な調子で話す会話を学習開始時より聞くことにより、もちろん始めのうちはかなりゆっくりであるが、日本人のナチュラルスピードの会話に慣れることができる。また、自然なイントネーションおよび話し言葉、身近な語彙に触れることができる。反省点としては、面白さにつられて教師の期待する学習内容を的確におさえない学生も出てくる。しかし全体として授業に緊張感と活力をもたらし、学生に日本語に対する親近感を抱かせることに成功していると思う。

録音者となったのが女性講師2人のため、似たような音質の人間の会話となってしまった。今後は男性に協力を頼み、違う声を聞かせることが必要と思われる。

スクリプトとタスク

1 ディクテーションタイプ

Nr. 1

山田「石井さん、一緒に帰りませんか。」

石井「これからちょっと神田（ナッシュマルクト、マリアヒルファー、ピラ）へ行きます。」

山田「神田（ナッシュマルクト、マリアヒルファー、ピラ）へ？」

石井「ええ、本（バナナ、辞書、コーラ）を買います。山田さんは何をしますか。すぐ家へ帰りますか。」

山田「いいえ、喫茶店でコーヒーを飲みます（カフェでワインを飲みます、レストランでシュニツェルを食べます、メンザでビールを飲みます）。」

石井「山田さんはよく喫茶店（カフェ、レストラン、メンザ）へ行きますね。」

注) カッコ内は聞き取り用会話で使用したバリエーション。ナッシュマルクト、マリアヒルファーはウィーンの地名、ピラは大手スーパーの名前、メンザは学生食堂のこと。

III kikitori

1. Ishii san wa doko e ikimasu ka?
Yamada san wa nani o shimasu ka?
2. Ishii san wa nani o kaimasu ka?
Yamada san wa doko e ikimasu ka?
3. Ishii san wa doko e ikimasu ka?
Yamada san wa ashita gakoo e kimasu ka?

Nr. 2

1. 「ジョン、ジョン」

「ジョンて誰ですか。」

「あ、人じゃありません。私の犬です。」

「そうですか。」

「大きいですが、とてもかわいいです。」

「へえ。」

「それに元気です。とても高かったです。すばらしいですよ。でも、ちょっとうるさいんです。」

「そうですか。あ、来ましたよ。」

2. 「ザルツブルグを知っていますか。」

「ザルツブルグですか。ええ、もちろん知っていますよ。有名ですよ。」

「ええ、友達に住んでいます。古い所ですが、きれいですよ。それにとても静かです。私は大好きなんです。」

「そうですか。私も行ってみたいですね。」

3. 「その喫茶店に入りませんか。」

「そうですね。その喫茶店は私も好きです。いつも静かですよ。」

「ええ、コーヒーもおいしいんですよ。安いからよく行くんですよ。」

「そうですか。でもちょっと汚いですよ。小さいです。」

「うーん。まあそうですね。古いですから。」

Ⅰ) ジョンはどんないぬですか。

eg. $\left\{ \begin{array}{l} \text{大きい} \\ \text{小さい} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{かわいい} \\ \text{かわいくない} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{元気} \\ \text{元気じゃない} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{すばらしい} \\ \text{だめ} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{しずか} \\ \text{うるさい} \end{array} \right.$

ジョンは 大きい ですが、とても _____ いぬです。それに _____
いぬです。 _____ いぬですが、ちょっと _____ なんです。

2) ザルツブルグはどんな ^{ところ} 所ですか。

$\left\{ \begin{array}{l} \text{ゆうめい} \\ \text{ゆうめいじゃない} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{あたらしい} \\ \text{ふるい} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{きれい} \\ \text{きたない} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{にぎやか} \\ \text{しずか} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{だいすき} \\ \text{大きらい} \end{array} \right.$

ザルツブルグは、 _____ 所です。 _____ ですが _____ 所です。
それにとても _____ ですから、わたしは _____ です。

3) どんな きつてんにはいりますか。

$\left\{ \begin{array}{l} \text{しずか} \\ \text{にぎやか} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{コーヒーがおいしい} \\ \text{コーヒーがまずい} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{たかい} \\ \text{やすい} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{あたらしい} \\ \text{ふるい} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{きれい} \\ \text{きたない} \end{array} \right.$	$\left\{ \begin{array}{l} \text{大きい} \\ \text{小さい} \end{array} \right.$

そこはいつも _____ きつてんです。コーヒーも _____ です。それに
_____ です。でも、 _____ みせですから、ちょっと _____ です。
そして _____ です。

Nr. 3

例「わはははは。。。」

「はい。皆さん！静かにしてください。」

「はい、先生。」

1. 「先生、この字がわからないんですけど。。。」

「ああ、それじゃあね、自分で辞書で引いてごらん下さい。」

「はい。」

2. (ホテルで) 「いらっしゃいませ。」

「今晚泊まりたいんですけど。」

「はい。それではこの紙にお名前と住所をお書きください。」

3. 「山田先生。」

「はい。」

「英語の手紙をもらったんですけど、ちょっとわからなくて。訳していただけますか。」

「いいですよ。」

4. 「あーあ。テスト悪かったんだ。」

「どれどれ。あら、本当だ。」

「あーん、見ないでよ。」

「ごめん。」

5. 「ほーら、もう一杯飲め飲め。」

「先輩。もうたくさん飲みました。もう(ヒック)飲めません。」

I へように言う/頼む etc.

1) テープを聞いて書きなさい。

例: 先生は学生に 静かに するように 言いました。

① 先生は学生に _____ 言いました。

② 受付の人はお客様に _____ 頼みました。

③ めぐみさんは 山田先生に _____ 頼みました。

④ しんどうさんは めぐみさんに 悪いテストを _____ て、めぐみさんに _____ 言いました。

⑤ めぐみさんは 先輩に _____ 言われましたが、
もうたくさん飲んでいたので、 _____ と断りました。
(ablehnen)

2 状況理解タイプ

Nr. 4

1. 「どこへ行くんですか。」「これから家で晩ご飯を食べます。」
2. 「一緒に映画を見ませんか。」「いいですね。」
3. 「どこへ行くんですか。」「これから仕事です。」
4. 「来週京都へ行くんです。」「いいですねえ。見物するんですか。」「ええ。」
5. 「家に来ませんか。」「これから図書館へ行きます。明日試験がありますので。」
6. 「きょうどこへ行きますか。」「これから母と買い物します。」
7. 「明日家へ来ませんか。」「ええ、いいですよ。何をしましょうか。」「面白いビデオを見ましょう。」
8. 「散歩ですか。」「ええ、ちょっと公園へ行きます。」「行っていらっしゃい。」
9. 「どこへ行くんですか。」「新宿駅で友達が待っているんです。」
10. 「プラター（遊園地）へ行きましょう。」「いいですね。」

Ⅱ なにをしに行きますか。どこへ行きますか。

1)	A.	A.	B	C.	
2)					
3)		ごはん	しごと		
4)		D.	E.	F.	
5)					
6)		Bibliothek	Prater	VTR	
7)		G.	H.	I.	J.
8)					
9)		くつや	きょうと	Spaziergang	ともだち
10)					

Nr. 5

1. 頭が痛いんですか。じゃ、薬を。。。よくなりますよ。
2. お金がないんですか。じゃ、お母さん。。。いいですよ。
3. 銀行ですか。銀行ならその角。。。すぐですよ。
4. あ、そのことばがわかりませんか。じゃ、辞書。。。わかりますよ。
5. 時間ですか。時計。。。わかるんですが、今日は忘れました。

注) 書込シートは特に作らず、口頭で自由に答えさせた。

Nr. 6

1. 「わー、おいしそうなケーキ。いただきます。」
「ただいまー。さあケーキたべようっと。あら、ちょっと私のケーキ知らない？」
「え、私食べちゃったよ。あれ、お姉さんのだったの？」
「あーん、もう。」
2. 「へへ、この財布はいいなあ。いただきます。」
「ふん、ふん。。あれっ！あらら、財布がない、どうしてえ？財布がない！あーあ」
3. 「おまたせいたし。。きやっ！（ガチャン）」
「きゃー私の服が！あーあ、汚れちゃった。」
「申し訳ございません。」
4. 「（ザーザー）あらー。降ってるわ。傘持ってないのよねー。困ったなー。」
5. 「あんたでしょ。私の彼取ったの。（バシッ!）」
「きやっ！痛い！」
6. 「さあ、仕事が終わった。帰ろう帰ろう。」
「ああ、君すまんがねえ、この仕事やってくれる。」
「え、だって課長、もう5時過ぎ。。（ブツブツ）」

II 「わるい一日」

テープを聞いて番号を書いてください。それから Passiv で書いてください。

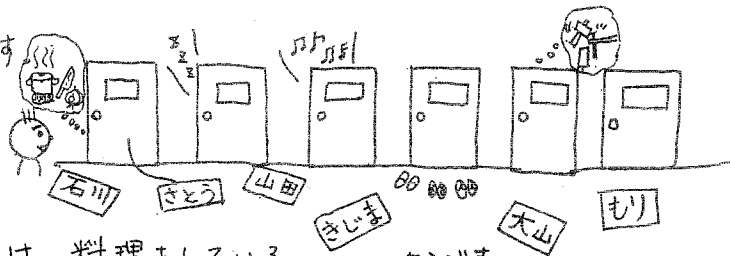


- ① 私は 妹 に _____。
- ② 私は スリに _____。
(Taschendieb)
- ③ お客様は ウェイトスに _____。
- ④ 私は 課長に _____。
- ⑤ 私は 友達に _____。
- ⑥ 私は 帰りに _____。

Nr. 7

1. 「(ノックの音) 佐藤さん」
(物を切る音、鍋の音等) 「あ、いいにおい。スープかしら。」
2. 「(ノックの音) 森さん」
(音楽)
3. 「(ノックの音) 木島さん」
(グラスの触れ合う音、乾杯の声)
4. 「(ノックの音) 山田さん」
(いびき)
5. 「(ノックの音) 石川さん」
(金づちの音、鋸の音)
6. 「(ノックの音) 大山さん」
(音なし)
「(ノックの音) 大山さん、大山さん。あれ、変だなあ。大山さん。」

II. ~ようです



- 例) さとうさんは、料理をしている ようです。
1) 山田さんは、_____ ようです。
2) もりさんは、_____ ようです。
3) 石川さんは、_____ ようです。
4) 大山さんは、_____ ようです。
5) きじまさんは、_____ ようです。